

# S I D R

## 滋賀県感染症情報

SHIGA Infectious Diseases Report

《週報》

第 9 巻 第 20 号

第 20 週 (5月11日 ~ 5月17日)

発行年月日:平成21年(2009年) 5月21日

発行 行:滋賀県衛生科学センター内  
滋賀県感染症情報センター

電話 077-537-7438 FAX 077-537-5548

### 今週の感染症発生動向

#### 滋賀県内で 1例目の新型インフルエンザ発生

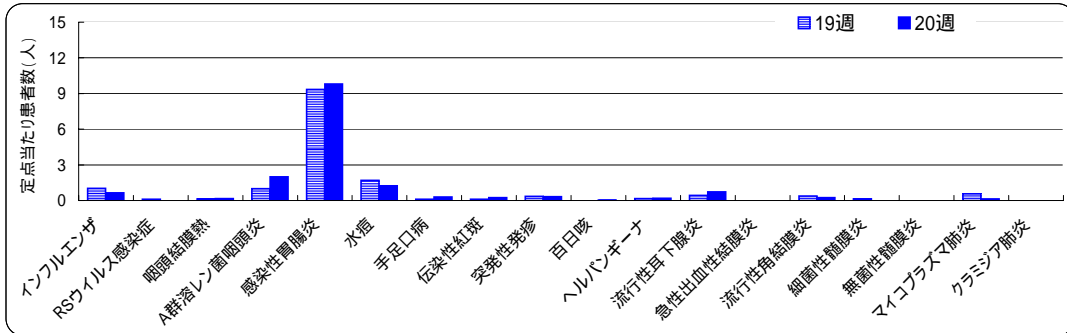
定点把握の対象となる五類感染症の発生状況は、先週の報告数よりやや多くなっています。今週増加した疾患はA群溶レン菌咽頭炎、感染性胃腸炎、伝染性紅斑(リンゴ病)等で、他の疾患については下記グラフおよび疾病別定点当たり患者数のグラフを参照して下さい。

**新型インフルエンザについては、5月20日に大津市在住の20歳代の男性が新型インフルエンザ患者と確認されました。なお、滋賀県内での患者の発生は今回が最初です。**

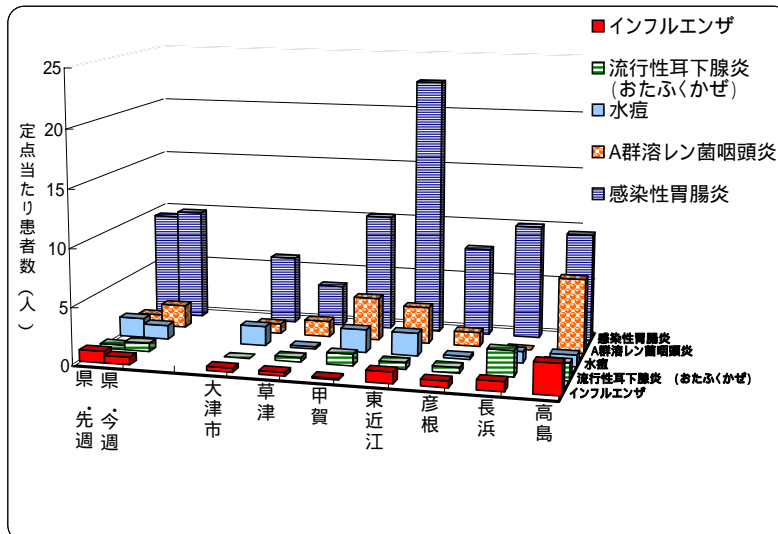
「感染症発生動向調査に基づく感染症の警報・注意報システム」による保健所管内別の警報の発生状況については、感染性胃腸炎では東近江で先週に引き続き警報発生基準値を超えています。また、第20週(5月11日～5月17日)から咽頭結膜熱(プール熱)およびA群溶血性レンサ球菌咽頭炎において、警報の発生基準値が改訂されました(詳細については、今週の発生状況:警報発生基準値の改訂参照)。

全数把握対象疾患では、二類感染症の結核で1名、五類感染症のアメーバ赤痢で1名の届出がありました。

定点把握の対象となる五類感染症の疾患別発生状況(先週との比較、定点当たり患者数)



上位5疾患の発生状況(定点把握対象五類感染症、第20週、定点当たり患者数)



県全体における上位疾患の発生状況についてはグラフに示すとおり、感染性胃腸炎、A群溶レン菌咽頭炎、水痘、流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)、インフルエンザの順に多くなっています。

感染性胃腸炎は東近江ではかなり減少していますが、多い状態が持続しています。A群溶レン菌咽頭炎は高島で多くなっています。

#### 新型インフルエンザ(インフルエンザA/H1N1)情報

世界の発生状況  
(WHO情報)

日本国内の発生状況  
(国立感染症研究所感染症情報センター)

報告数  
流行地図



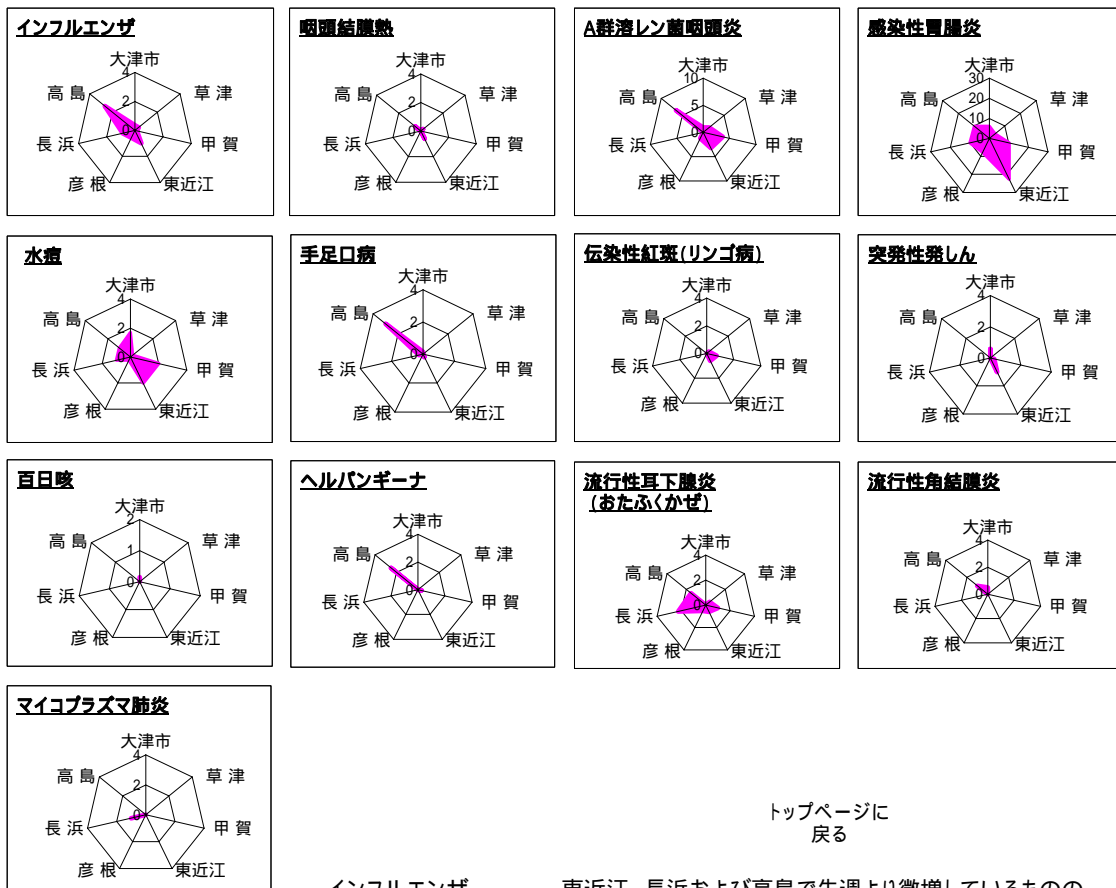
(2)疾病別・保健所管内別発生状況(第20週、5/11～5/17)

疾患名	定点当たり患者数(県・保健所管内別)									疾患別発生状況 (県全体)
	県	大津市	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島		
インフルエンザ	0.65	0.36	0.33	0.14	1.00	0.57	0.86	2.67		
RSウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0		
咽頭結膜熱(プール熱)	0.16	0	0.20	0	0.60	0	0	0.50		
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2.00	0.86	1.40	3.75	3.20	1.25	0	6.50		
感染性胃腸炎	9.81	6.00	3.60	10.25	22.60	7.75	10.00	9.50		
水痘	1.23	1.71	0.20	2.00	2.00	0.25	1.00	1.00		
手足口病	0.29	0.14	0	0	0.20	0	0.25	3.00		
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.23	0	0.20	0.75	0.60	0	0	0		
突発性発しん	0.32	0.57	0	0.25	1.00	0	0	0		
百日咳	0.03	0.14	0	0	0	0	0	0		
ヘルパンギーナ	0.19	0	0	0.25	0	0	0	2.50		
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.74	0	0.40	1.00	0.60	0.50	2.25	1.50		
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0		
流行性角結膜炎	0.25	0.50	0	0	0	0	0	1.00		
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0		
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0		
マイコプラズマ肺炎	0.14	0	0	0	0	0	1.00	0		
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0		

■ は定点当たり患者数が先週より増加 ■ は警報発生中 ■ は注意報発生中

0 3 6 9 12  
定点当たり患者数(人)

疾患別・保健所管内別発生状況(定点当たり患者数)



(3)今週の発生状況

インフルエンザ-----東近江、長浜および高島で先週より微増しているものの県全体では減少傾向となっています。  
 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎----甲賀および高島で再び先週より急増しています。  
 感染性胃腸炎-----東近江では第12週以降(3/16～3/22)連続して警報終息基準値(12.00)を越えています。また、甲賀および高島では先週より急増しています。  
 手足口病-----高島で先週よりやや多くなっています。

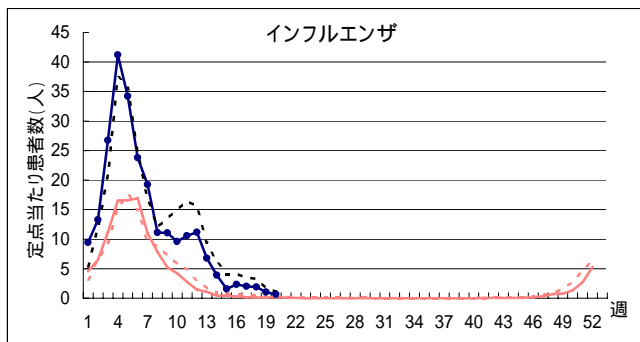
警報発生基準値の改訂

- 厚生労働科学研究費補助金による「効果的な感染症サーベイランスの評価 並びに改良に関する研究」班 -

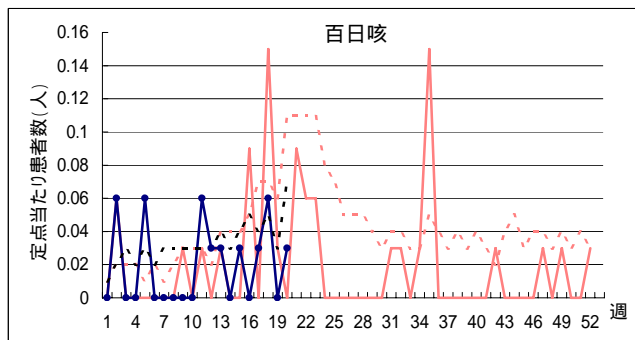
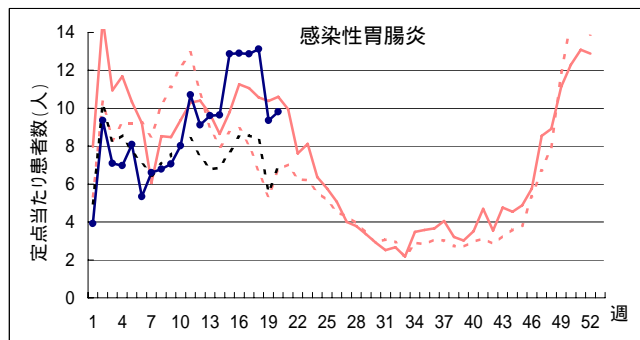
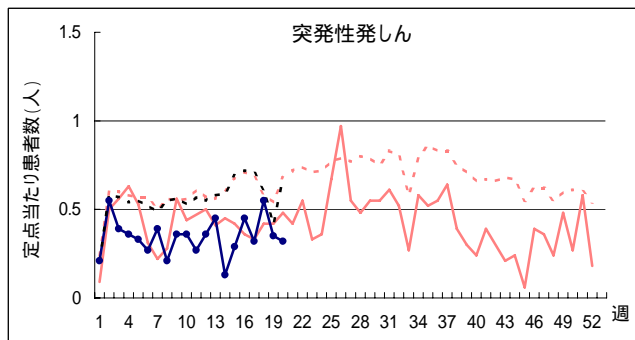
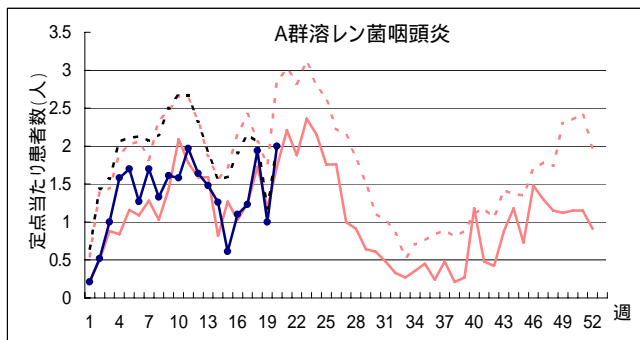
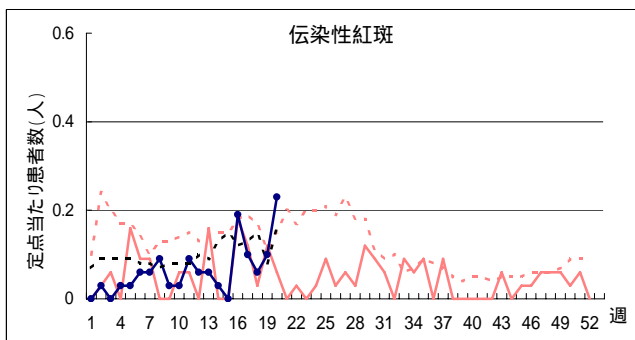
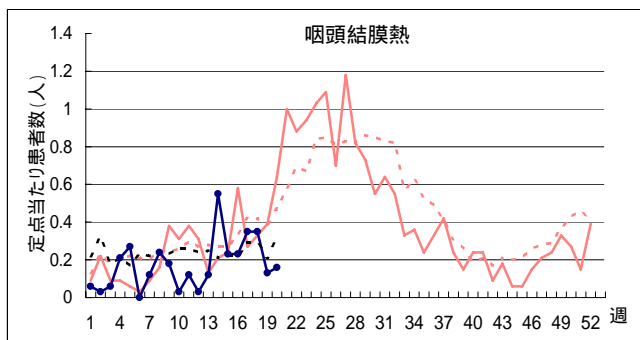
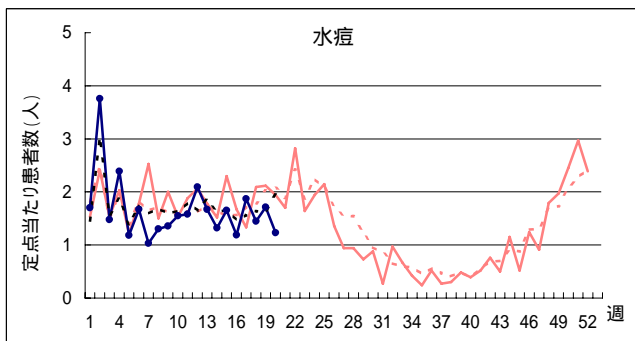
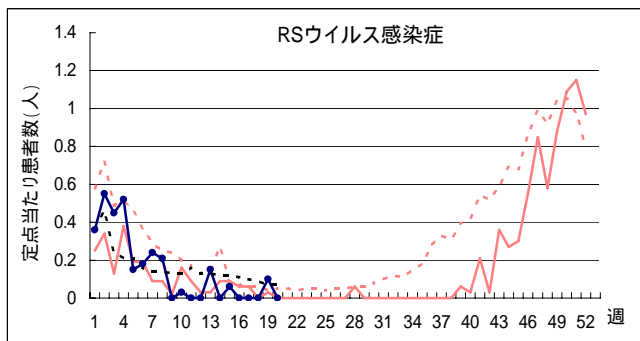
右記、変更基準が第20週(5月11日～5月17日)から「感染症発生動向調査に基づく感染症の警報・注意報システム」に摘要されます。

変更対象疾患	警報の開始基準値 (定点当たり患者数、人)	警報の終息基準値 (定点当たり患者数、人)
咽頭結膜熱(プール熱)	2.00 → 3.00	0.10 → 1.00
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	4.00 → 8.00	2.00 → 4.00

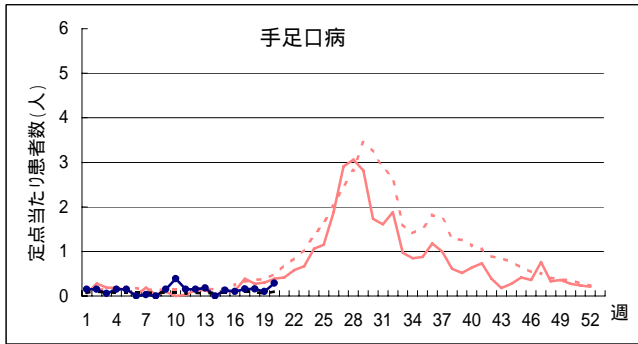
# 疾病別定点当たり患者数(平成21年第20週、H19.12.29~H21.5.17)



H20 { 滋賀 (solid red line)  
       全国 (dotted red line)  
 H21 { 滋賀 (solid blue line with dots)  
       全国 (dotted black line)



# 疾病別定点当たり患者数(平成21年第20週、H19.12.29~H21.5.17)



H20  
 { 滋賀 ————  
   全国 - - - - -  
 H21  
 { 滋賀 ————  
   全国 - - - - -

